

会議報告書

【会議名】 山形市自転車等駐車対策協議会	日 時 令和7年8月28日（木） 時 間 午後3時00分から 場 所 市役所10階 1001会議室
1 開会 2 委嘱状交付 3 市長あいさつ 4 委員紹介 5 事務局紹介 6 報告 ①山形市自転車等駐車対策について ②矢羽根型路面表示について ③コミュニティサイクル事業について 7 その他 8 閉会	【報告者】 道路維持課 道路占用係 主任 富塚 小百合
【出席者】 委員：別紙のとおり（全14名のうち13名出席、うち代理1名） 市：道路維持課（佐藤部長、金子課長、前田課長補佐、喜嶋補佐、渡邊主査、富塚主任、佐藤係長） 企画調整課（軽部係長） 公共交通課（波多野主事） 傍聴者：なし	
5 報告事項について 資料に沿って、下記、報告①について、喜嶋補佐が説明。 報告①・・・山形市自転車等駐車対策について 資料に沿って、下記、報告②について、軽部係長・佐藤係長が説明。 報告②・・・矢羽根型路面表示について 資料に沿って、下記、報告③について、波多野主事が説明。 報告③・・・山形市コミュニティサイクル事業について （質疑応答） 報告①「山形市自転車等駐車対策について」 委員 放置自転車の中に盗難車はどのくらい含まれているのか。また、自転車の所有者に、盗難された後禁止区域に放置されている、という情報をどのように与えているか？ R2からはコロナ過で平均放置台数（P3）が減っているが、R6にはコロナ過前に戻りつつある。最近の自転車の利用状況がどうなっているか把握しているか？	

市

盗難車の数については今具体的な数字はない。

盗難車は防犯登録の確認を行い、登録していれば持ち主に連絡している。

委員

市から警察に防犯登録番号の照会がきた後、防犯登録をもとに所有者、住所等を調べて回答をしている。盗難自転車は数台あると把握している。被害届が出されているものについては返還し、盗難届が出されていないものは、市が郵便はがきで所有者に通知をしている。

市

最近の利用状況は、移動が増え自転車に乗る機会が増えてきている。しかし、禁止区域に放置していると撤去される、という情報は浸透してきていると思われる。

委員

マナーがよくなってきていると思う。放置が増えているというより、一時的に置いている人が増えた。自転車を置いている人はおそらく高校生でその中心は塾である。

通学用の自転車は登録制のはずだが効果はどうなっているのか？

市

放置が戻ってしまうのは問題である。整理整頓業務を行っているので、引き続き警告を張り撤去を強化していかなければいけないと思っている。

委員

以前のように歩道に二重三重も自転車があるわけではないのでだいぶ減った印象。このまま続けてもらいたい。塾は買い物客と同じで、利益を生む人たちが少しの時間止めるのは許していただきたいところではある。まずは、高校生の指導をしっかりとっていくといいと思う。

委員

高校生が教育を通じて変わっていくといい。

委員

放置台数と撤去台数はリンクしているのか？

放置は高校生であるのか。どこに放置が集中しているのかがポイントなのでは。

市

P3の平均放置台数と撤去台数はリンクしていない。平均放置台数は調査した時にその場にあった自転車の数。人の流れが増え一時的な放置は増えているが、撤去台数は減っているので長期で放置しているわけではない。

委員

放置の場所がどの辺に集中しているのか、景観を乱さない程度の短時間はいいとするのか、調査するといひ。

委員

どういふ人たちが自転車をおいているのか調査してみたい。放置している人は禁止区域だと思っっている人はほとんどいない。やはりまだ周知が足りない。

市

新入生に自転車の乗り方のルールや、駅の禁止区域が載ったリーフレットを配布している、きちんと見ていただけるように周知方法を検討していく。

委員

あわせて高校生の意見をきいていくといひ。

(質疑応答)

報告②

委員

矢羽根型をまだまだ知らない人がいると思う。安全に自転車に乗れるように周知に力を入れてほしい。全面塗装ではなく矢羽根で対応しているのはなぜか。

市

まだ認知が足りないと思っているのでメディアを使って周知していく。自転車通行帯として幅員等の要件があり、要件を満たすのが難しいときに矢羽根にしている。

委員

時々矢羽根の上に車を止めている人がいるので車の運転者にも周知していくといひ。

委員

自転車と歩行者、車が危なくならないようなまちづくりを頑張ってほしい。

(質疑応答)

報告③

委員

ヘルメットの数・貸し出し数はどうなっているのか？

ながら運転は禁止されているが自転車にスマホを置くポートはついているのか。

市

ヘルメットの貸し出し状況は具体的なデータがない。ヘルメットの拡充は行っているが、まだヘルメットをかぶっている人はまだ少ないと感じている。他自治体ではヘルメットの購入助成を行っている。そのような事例を参考にしながら、ヘルメットの着用について呼びかけていきたい。スマホを置くラックはついていない。ながら運転の防止についても対策していきたい。

委員

ヘルメットの寄付事業はないのか。

市

今のところない。

委員

コミュニティサイクルの修理が増えているが、予算が足りないため途中から部品の交換をせず点検だけになった。安心して貸し出すことができるように点検の予算をしっかりとったほうがいいのでは。

委員

利用者の事故がないように。

以上で会議は閉会になった。(午後4時30分)